

あくたがわ ともあき
芥川 知彰

Akutagawa Tomoaki



保健福祉学部 理学療法学科 准教授

研究者略歴

○生年月	1981年5月
○学歴	広島県立保健福祉大学保健福祉学部理学療法学科卒業(2005.3) 高知大学大学院医科学研究科医科学専攻修士課程修了(2009.3) 高知大学大学院総合人間自然科学研究科医学専攻医療学コース博士課程修了(2016.2)
○学位	学士(理学療法学)(広島県立保健福祉大学/2005.3) 修士(医科学)(高知大学/2009.3) 博士(医学)(高知大学/2016.2)
○主な職歴	高知大学医学部附属病院リハビリテーション部(2005.4) 高知大学医学部附属病院リハビリテーション部主任理学療法士(2012.5) 高知大学医学部附属病院リハビリテーション部副技士長(2015.4) 徳島文理大学保健福祉学部理学療法学科講師(2016.4) 徳島文理大学保健福祉学部理学療法学科准教授(2020.4)
○専門分野	基礎理学療法学 身体運動学
○所属学会	日本理学療法士協会 日本基礎理学療法学会 理学療法科学学会 日本臨床神経生理学学会 日本リハビリテーション医学会 保健医療学学会 中国四国リハビリテーション医学研究会
○担当授業科目	運動学Ⅱ 神経障害理学療法学 神経障害理学療法学実習 理学療法研究法
○現在の研究	歩行に関する研究 筋のパフォーマンスに関する研究

主な業績

○主な学会 ・社会活動等	① 高知県理学療法士協会保健部部員(2005.4) 副部長(2011.8-2016.3) ② RKC(高知放送) ラジオ「気になる健康ファミリードクター」講師(2016.2)
○主な研究論文 ・著書等	① 芥川知彰, 榎勇人, 西上智彦, 石田健司, 谷俊一: 2次元での簡易的な身体角度計測の信頼性: 臨床普及の観点から. 理学療法科学, 22巻3号, 369-372頁(2007.7) ② Tomoaki Akutagawa, Toshikazu Tani, Shinichirou Taniguchi, Masahiko Ikeuchi, Kenji Ishida: A New Evaluation Measure for Fasciculus Cuneatus Function in Cervical Spondylotic Myelopathy. 日本脊椎脊髄病学会雑誌, 19巻3号, 524-528頁(2008.11) ③ Takuo Nomura, Toshikazu Tani, Masahiko Ikeuchi, Tomoaki Akutagawa, Hayato Enoki, Kenji Ishida: Maximum voluntary ventilation as a sensitive measure to monitor the ventilatory function in cervical spondylotic myelopathy. Spinal Cord, 50, 328-332頁(2012.4) ④ 芥川知彰, 榎勇人, 室伏祐介, 田中克宜, 小田翔太, 細田里南, 永野靖典, 石田健司, 谷俊一: 筋収縮形態と視覚フィードバック提示方法の違いが最大筋力発揮に及ぼす影響. 理学療法科学, 29巻4号, 573-576頁(2014.8) ⑤ 芥川知彰, 榎勇人, 竹林秀晃, 室伏祐介, 小田翔太, 近藤寛, 細田里南, 永野靖典, 池内昌彦: 加速度センサを用いた歩行分析の妥当性: 体幹加速度と重心加速度の比較から. 保健医療学雑誌, 6, 10-14頁(2015.4) ⑥ 明崎禎輝, 芥川知彰: 地域理学療法士の関連制度と関連法規. 重森健太・編: PT・OT ビジュアルテキスト地域理学療法学, 羊土社, 41-72頁(2015.10) ⑦ Tomoaki Akutagawa, Toshikazu Tani, Kazunobu Kida, Nobuaki Tadokoro, Hayato Enoki, Yasunori Nagano, Masahiko Ikeuchi: A new method for characterizing hand dysfunction in cervical spondylotic myelopathy: a preliminary study. Spinal Cord, 54, 221-225頁(2016.3)